

第1回 百分率とグラフ 学習日： 月 日 学習時間 30分 割合



今日から^{わりあい}割合の学習に入ります。割合というのは、2つの量をくらべるときに使う考え方です。大切な考え方なので、しっかりおさえておきましょう。

確にん問題

あるクラスの人数は40人で、そのうち、兄弟のいる人は24人です。クラスの人数をもとにしたとき、兄弟のいる人の割合を求めます。次の□にあてはまる数を書き入れて、兄弟のいる人の割合を小数で求めなさい。

$$\square \div \square = \square$$

□ (答え)

⇒ 答えは「答えと考え方」の2ページ

理かいできているかな

割合の意味

2つの量の大きさをくらべるとき、1つの量がもう1つの量の何倍にあたるかを考えることがあります。このことについて調べていきましょう。

小数を使って、何倍かを求める方法は、前に学習したね。まずはその復習だよ。



(例) なるみさんのクラスは35人で、そのうちめがねをかけている人は7人です。めがねをかけている人は、クラスの人数の何倍ですか。

めがねをかけている人の人数 7人 は クラスの人数 35人の \square 倍

と考えて、
 $7 \div 35 = 0.2$

よって、0.2倍

もとにする大きさを、わればいいね。



前のページの(例)では、クラスの人数35人をもとにすると(1とすると)、めがねをかけている人7人は0.2にあたることを表しています。このように、くらべられる量が、もとにする量の何倍にあたるかを表した数のことを^{わりあい}割合といいます。



「35人を1とすると7人の割合は0.2」といういい方をするわよ。



7人 は 35人の 0.2倍
くらべられる量 もとにする量 割合

7人 は 35人を1とすると0.2にあたる
くらべられる量 もとにする量 割合

ここが大切

割合は、次の式で求められる。

割合 = くらべられる量 ÷ もとにする量
(「くらべられる量」は「くらべる量」ということもある。)

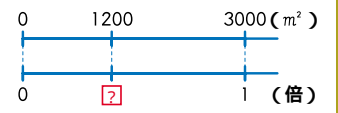
□ は □ の □ 倍
くらべられる量 もとにする量 割合

□ は □ を1とすると □ にあたる
くらべられる量 もとにする量 割合

では、割合を求める問題のとき方を考えましょう。

(例) 公園の面積は3000m²で、そのうち花だんの面積は1200m²です。公園の中での花だんの面積の割合を小数で求めなさい。

花だんの面積 1200m² は 公園の面積 3000m² の \square 倍
くらべられる量 もとにする量 割合



1200m² は 3000m² を1とすると \square にあたる
くらべられる量 もとにする量 割合

したがって、
割合 = くらべられる量 ÷ もとにする量
より、 $1200 \div 3000 = 12 \div 30 = 0.4$
よって、0.4

割合を答えるときは、単位はいらぬね。

